



～ 夢ひとすじに ～  
**宮原中だより**  
学び 磨き 鍛え 羽ばたけ

平成30年度 第5号  
平成30年8月31日(金)発行  
さいたま市立宮原中学校  
ホームページアドレス  
<http://miyahara-j.saitama-city.ed.jp>  
メールアドレス  
miyahara-j@saitama-city.ed.jp



## 暑い夏を振り返って

校長 松井 聡

今年の夏もようやく終わろうとしています。熊谷で41.1℃を記録した7月23日、私は県大会に出場した陸上部とテニス部の応援で熊谷運動公園におり、幸運にも(?)生徒とともに歴史的な場面に立ち会うことができました。災害級だとも言われた猛暑の夏でしたが、今年も数多くの感動を味わうことができました。

夏休み中は、水泳部が全国大会に、男子バレーボール部と卓球部は関東大会に出場し、埼玉県代表として堂々と戦ってきてくれました。それ以外にも、多くの部活動が県大会や市の夏季大会、様々なコンクール・展覧会等を舞台に活躍しました。県のコンクールで金賞を受賞した吹奏楽部と合唱部は、9月に山梨県で行われる西関東及び関東大会への出場を決めました。

また、夏休み前になりますが、7月15日に開催された「中山道みやはらまつり」には、今年も本校から全校の1/3近くの生徒が参加させていただきました。お陰様で子どもたちには「地元のお祭りで神輿を担ぐ」という貴重な経験をさせることができました。事前の指導に何度も来校してくださるなど、地域の役員の皆様には本当にお世話になりました。当日の様子を報道した地域番組のTVインタビューで、みやはらまつり実行委員長の畔川さんが「子どもたちが自ら指揮をして担ぐ宮原中神輿、その雄姿がこの祭り一番の見所です…」と応えておられるシーンを拝見し、校長として感謝の気持ちで胸がいっぱいになりました。

全国に目を向けると、第100回目という節目を迎えた夏の高校野球甲子園大会(全国高校野球選手権大会)がとても印象的でした。優勝したのは強豪の大阪桐蔭高校。春に続いたの連覇という前評判通りの結果でしたが、決勝進出を果たした秋田県代表の金足農業高校の快進撃も大きな話題となりました。金足農は選手全員が地元出身の県立で、今大会校唯一の農業高校です。試合に勝つたびにエビ反りになって全力で校歌を歌う姿は、彼らの強い愛校心を感じさせました。3年生部員9人の全力野球で挑んだ決勝戦でしたが、大阪桐蔭の強力打線の前に力尽き、東北勢初の優勝はかないませんでした。しかし、声援を送った市民からは「笑顔を絶やさず、のびのびと戦う選手の姿に感動した」「勝っても負けても希望をもらった」など「金農ナイン」の歴史的な活躍をたたえる大きな拍手と感謝のことばが繰り返し上がり、これも大きな話題となりました。

愛校心に満ちた元気浚刺(はつらつ)で素晴らしい生徒たち、地域に温かく見守られ愛される学校…目指すべき学校の姿がここにあるように感じました。

さて、いよいよ2学期がスタート致しました。今年度宮原中学校は創立70周年となりますが、10月31日には大宮ソニックシティを会場に「創立70周年記念合唱コンクール」を、そして11月22日には本校体育館で「記念式典」を計画しています。PTAを中心とした実行委員会の皆様には引き続き大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

春の着任以来、本校生徒も保護者や地域の皆様に見守られ、大きな期待を受けて温かく育てていただいていることを痛いほど感じます。皆様のご期待に応えられるよう、2学期も頑張って参ります。

本校への変わらぬご支援ご協力をよろしくお願ひ致します。